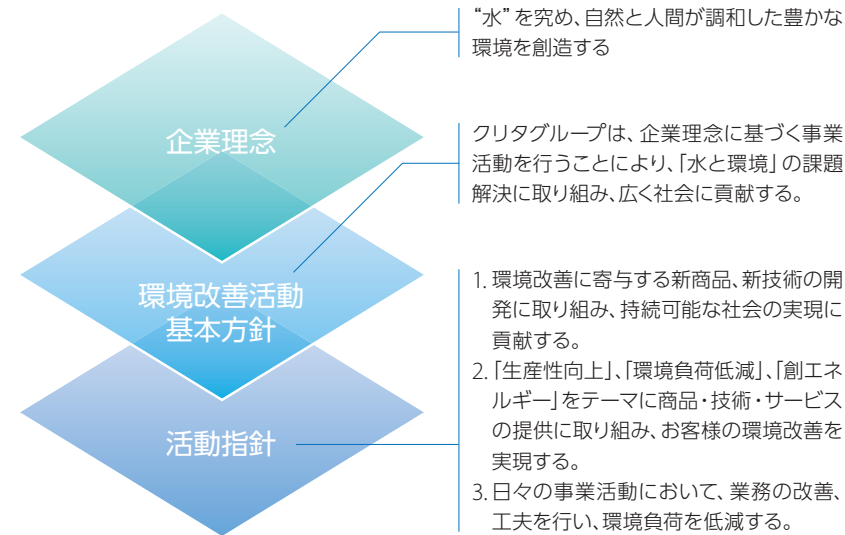




環境改善活動の基本

クリタグループは、事業活動を中心に「水と環境」の問題解決に取り組むことで、企業理念の実現をめざしています。



“水”を究め、自然と人間が調和した豊かな環境を創造する

クリタグループは、企業理念に基づく事業活動を行うことにより、「水と環境」の課題解決に取り組む、広く社会に貢献する。

1. 環境改善に寄与する新商品、新技術の開発に取り組む、持続可能な社会の実現に貢献する。
2. 「生産性向上」、「環境負荷低減」、「創エネルギー」をテーマに商品・技術・サービスの提供に取り組む、お客様の環境改善を実現する。
3. 日々の事業活動において、業務の改善、工夫を行い、環境負荷を低減する。

環境改善活動の3つの側面

「技術革新」の側面

環境改善に寄与する新商品・新技術の開発によって、持続可能な社会の実現に貢献するための取り組みです。

「お客様ニーズ」の側面

お客様が要望する環境改善に、商品・技術・サービスで貢献する取り組みです。

「社内変革」の側面

自社の業務を改善・工夫することによって、環境負荷を低減し続ける取り組みです。

2017年3月期の活動実績

「技術革新」の側面での取り組み

既存の技術では解決することが困難な環境に関する課題に対して、新商品、新技術を創出することで持続可能な社会の実現に貢献しようとする取り組みです。2017年3月期における開発実績は次の通りです。

新商品・新技術	環境改善項目			
	エネルギー	廃棄物	環境負荷物質	水質汚濁物質
PRTR法に該当しない素材を使用した産業用発電ボイラ向け水処理薬品	●		●	
レジオネラ属菌の除菌効果とスライム・スケール抑制、腐食の防止効果がある小規模冷却水向け固形薬剤	●			
難脱水汚泥向け汚泥脱水処理剤		●		
地下トンネル工事で発生する泥水向け脱水剤	●	●		
微生物に由来する汚染を抑制する大型海水淡水化プラント向け水処理薬品	●			
多様な水質に対応可能なコンパクトな排水回収技術	●		●	
ANAMMOX菌を利用した低エネルギーで廃棄物量の少ないバイオガス発電向け湿式メタン発酵システム	●	●		●
液晶・半導体プロセスにおける水・熱使用量の最小化支援ツール	●	●	●	
水処理設備での環境負荷低減提案支援ツール	●		●	●

「お客様ニーズ」の側面での取り組み

クリタグループの技術・商品・サービスの提供を通じてお客様の工場や事業所における環境負荷低減や有害物質の無害化に貢献しようとする取り組みです。2017年3月期においても、水処理薬品によるボイラや

冷却水設備の効率化による燃料削減、排水回収設備による節水、嫌気性排水処理から発生するガスを利用した発電による顧客工場での使用電力の削減といった実績がありました。

「社内変革」の側面での取り組み

クリタグループの国内全事業所における環境負荷低減の取り組み目標と実績は以下の通りです。

エネルギー使用量の削減

2017年3月期の主な取り組みとしては、一部の超純水供給事業所において、高温で廃液を処理する設備の運転管理方法を見直し効率化したことで加熱用燃料と冷却用水を削減しました。また、当社の生産系事業所においては、LED照明や高効率ボイラなどの設備更新により、使用する電力や燃料を削減しました。これらにより、エネルギー消費原単位とエネルギー使用量は削減目標を達成しました。

項目	2017年3月期目標	2017年3月期実績
エネルギー使用量 (生産系A ^{*1})	92,232 kJ以下	91,914 kJ

<参考 CO₂排出量>

項目	2016年3月期実績	2017年3月期実績	対前年比
CO ₂ 排出量	188,709 t	185,435 t	98.3 %
内訳	生産系A	182,529 t	98.5 %
	生産系B ^{*2}	4,392 t	87.8 %
	オフィス系 ^{*3}	1,788 t	99.9 %

※CO₂排出量は、サプライチェーン排出量の考え方におけるスコープ1、スコープ2を対象としており、電力や重油などのエネルギー使用量から換算係数を用いて算出しています。

※1. 特定事業者であるグループ会社、栗田工業におけるエネルギー管理指定工場 ※2. 水処理薬品や水処理装置の製造などを行う会社、事業所
※3. 上記以外の会社、事業所

廃棄物量の削減、リサイクル化率の向上

廃棄物量は前期に比べ大幅に減少し、目標を達成しました。これは、一部の超純水供給事業所において、お客様の工場から排出される排水に含まれる環境負荷物質が減少したことが主な要因です。リサイクル化率は、上記の超純水供給事業所で減少した廃棄物がすべてリサイクル対象であったこと、一部の生産系事業所で環境法令遵守のために排水基準を見直し廃棄物量が増加したことにより、目標未達となりました。

項目	2017年3月期目標 (2016年3月期実績に基づく)	2017年3月期実績
廃棄物量	33,756 t以下	27,538 t
内訳	生産系C ^{*4}	32,044 t以下
	生産系D ^{*5}	1,462 t以下
	オフィス系 ^{*6}	250 t以下
リサイクル化率	80.0%以上	89.9%
内訳	生産系C	80.2%以上
	生産系D	78.7%以上
	オフィス系	46.1%以上

※4. 特定のお客様の生産状況により、廃棄物量が増減の影響を受ける会社、事業所 ※5. 研究開発や水処理薬品、水処理装置の製造などを行う会社、事業所
※6. 上記以外の会社、事業所

PICK UP

「ドリームポリマー[®]」が「環境技術賞」を受賞

当社の多機能ポリマー素材「ドリームポリマー[®]」が、一般社団法人日本化学工業協会が主催する「第49回日化協技術賞」において、「環境技術賞」を受賞しました。「ドリームポリマー[®]」をボイラ水に適用することにより、ボイラのスケールを除去し熱伝導率を維持するとともに、捨ててしまうことが多いカルシウムなどのスケール成分が含まれている蒸気凝縮水をボイラの給水として再利用することが可能になり、ボイラで使用する燃料の削減につながります。このような環境改善効果とともに科学技術の進歩に寄与したことが評価されました。

に、捨ててしまうことが多いカルシウムなどのスケール成分が含まれている蒸気凝縮水をボイラの給水として再利用することが可能になり、ボイラで使用する燃料の削減につながります。このような環境改善効果とともに科学技術の進歩に寄与したことが評価されました。